



# 第116回 日本医史学会 学術大会

会期：平成27年（2015年）4月25日（土）～26日（日）

会場：日本綿業倶楽部（重要文化財指定建築物）

展示会場：武田科学振興財団杏雨書屋

学術大会 4月25日（土）・26日（日）



名誉会長 田中祐尾  
会長 小曾戸 洋  
実行委員長 平松賢二

後援：公益財団法人 武田科学振興財団杏雨書屋、東亜医学協会、くすりの道修町資料館、大阪大学適塾記念センター  
山科植物資料館



## ご 案 内

### 【社員総会】

総会前日の社員総会は武田科学振興財団（道修町）の3階会議室で午後5時から行います。終了後、関係者ととも近く近くの三井ガーデンホテルで懇親会を行います。

### 【華岡碑除幕式】

大会第1日目の朝9時から中之島公園で華岡合水堂碑の除幕式を行います。参加はご自由です。詳細は別紙をご参照下さい。除幕式に参加を希望されない方は大会会場の綿業倶楽部（備後町）に直接お越し下さい。受付は9時半からです。

### 【会員懇親会】

大会第1日目終了後、新阪急ホテルで懇親会を行います。移動は大型バス2台（無料）を用意しています。会員外の参加も歓迎です。

### 【市民公開講座】

大会第2日目の午後3時15分～4時45分は一般公開の市民公開講座です。終了後、閉会です。

### 【施設見学】

2日間の会期時間中には、武田科学振興財団杏雨書屋の展示室、適塾、くすりの道修町資料館、少彦名神社（神農さん）の視察見学ができるよう各施設の格別の配慮を得ています。当地ならではのいい機会ですので、自由に足をお運び下さい。詳細は大会会場に公示してあります（地図は19頁にあります）。

### 【オプションツアー】

大会終了の翌日には京都の名所めぐりオプションバスツアーを企画しています。詳細は12頁をご覧ください。

皆様のご参加をお待ちしております!!

## 日程・会場・演題番号・座長一覧

4月24日(金)

17:00～	社員総会(武田科学振興財団杏雨書屋)
18:00～19:30	役員懇親会(三井ガーデンホテル大阪)

第1日 4月25日(土)

9:00～ 9:30	華岡合水堂碑除幕式(中之島公園)	
	A会場	B会場
9:30～	受付	
9:55～10:00	開会の挨拶 平松 賢二 実行委員長	
10:00～11:00	No. 1～ 4 座長 W・ミヒエル	No.21～24 座長 真柳 誠
11:00～12:00	No. 5～ 8 座長 柳澤 波香	No.25～28 座長 猪飼 祥夫
12:00～12:30	会長講演 小曾戸 洋	
12:30～12:45	会員総会・記念撮影	
12:45～13:30	昼食休憩	
13:30～14:30	No. 9～12 座長 星野 卓之	No.29～32 座長 宮川 浩也
14:30～15:30	No.13～16 座長 岡田 靖雄	No.33～36 座長 町 泉寿郎
15:30～16:30	No.17～20 座長 平尾真智子	No.37～40 座長 天野 陽介
16:30～17:30	シンポジウム「華岡青洲の時代」 基調講演 松木 明知 (酒井シヅ、W・ミヒエル、 鈴木達彦、町 泉寿郎)	
17:30～18:00	移動(バス2台)	
18:00～20:00	懇親会〔大阪新阪急ホテル(梅田)〕	

第2日 4月26日(日)

	A会場	B会場
8:30～	受付	
9:00～10:00	No.41～44 座長 蔵方 宏昌	No.61～64 座長 館野 正美
10:00～11:00	No.45～48 座長 中澤 淳	No.65～68 座長 黒川 達郎
11:00～12:00	No.49～52 座長 松木 明知	No.69～72 座長 平松 賢二
12:00～13:00	昼食休憩	
13:00～14:00	No.53～56 座長 田中 祐尾	No.73～76 座長 長野 仁
14:00～15:00	No.57～60 座長 西巻 明彦	No.77～80 座長 山崎 正寿
15:00～15:15	休憩	
15:15～15:45	深澤 恒夫 座長 横山 巖	
15:45～16:15	田中 祐尾 座長 川嘉 真人	
16:15～16:45	町 泉寿郎 座長 坂井 建雄	
16:45～	次期大会会長挨拶 閉会の辞	

# 第1日 4月25日(土)

9:00～ 9:30 華岡合水堂碑除幕式 (中之島公園)

## 第A会場

9:30～ 受付

9:55～10:00 開会の辞……………平松賢二

10:00～11:00 座長：W・ミヒェル

- 1 音楽家ヘンデルの医療福祉支援活動……………柳澤波香
- 2 シェイクスピアの危険ドラッグ……………遠藤花子
- 3 18世紀ロンドンの産科病院における入院産婦の状況  
—British Lying-in Hospitalにおける産婦の入院生活を通して……………近藤さおり
- 4 被膜児伝説にみる胎盤の概念……………内野 花

11:00～12:00 座長：柳澤波香

- 5 サレルノ医学校—その歴史と意義……………坂井建雄
- 6 ニコロ・マッサの解剖学—権威と新知見の両立……………澤井 直
- 7 ニコラウス・ステノによる病理解剖—水頭症と奇形の原因について……………安西なつめ
- 8 フリードリッヒII世の皇帝の書……………辰野美紀

12:00～12:30 会長講演

杏雨書屋のコレクション……………小曾戸洋

12:30～12:45 会員総会・記念撮影

12:45～13:30 昼 食

13:30～14:30 座長：星野卓之

- 9 江戸中期に書かれた合田強の「西洋医述」を読む……………板野俊文
- 10 緒方洪庵が武谷棕亭(祐之)に宛てた書簡(安政4年12月20日)……………中山茂春
- 11 種痘をめぐる漢詩文—幕末期を中心に……………合山林太郎
- 12 オットー・モーニッケが見た幕末期の日本の医療……………相川忠臣

**14:30～15:30** 座長：岡田靖雄

- 13 キリシタン迫害——雲仙地獄の場合：温泉科学の視点より……………大沢眞澄  
14 明治初期日本の民衆への医療情報の普及  
——大阪・道修町の画作者・松川半山の人体像……………月澤美代子  
15 長谷川泰の脳脊髄病治療に関する建議案……………○志村俊郎、都倉武之  
16 野口英世初恋の人山内ヨネの医術開業後期試験合格期日をめぐる新知見について  
……………○殿崎正明、山本鼎

**15:30～16:30** 座長：平尾真智子

- 17 昭和17年開催・第11回日本医学会総会の総会講演について……………渡部幹夫  
18 第66回日本精神神経学会総会(1969年、金沢)……………岡田靖雄  
19 戊辰戦争における衛生隊のはじまりと看病人役割の変化……………鈴木紀子  
20 西南戦争が宮崎県の医療に与えた影響……………大西雄二

**16:30～17:30** 華岡合水堂碑建立記念シンポジウム「華岡青洲の時代」

- 基調講演「華岡青洲と麻酔」……………松木明知  
座長・総括 酒井シヅ  
シンポジスト W・ミヒェル、鈴木達彦、町泉寿郎

**第 B 会場**

**10:00～11:00** 座長：真柳 誠

- 21 中国伝統医学と道教(第35回、道教を研究した先人達)……………吉元昭治  
22 傷寒について……………山田恵美  
23 疝について……………川端かおり  
24 徐嗣伯『風眩方』攷……………永塚憲治

**11:00～12:00** 座長：猪飼祥夫

- 25 『人元脈影婦指図説』の文献学研究……………沈 澍農  
26 『王叔和脈訣』の書誌について……………水溜亮一  
27 『切紙』所載の脈法について……………中川俊之  
28 趙開美『〔翻刻宋板〕傷寒論』の問題……………真柳 誠

**12:45～13:30** 昼 食

**13:30～14:30** 座長：宮川浩也

- 29 安政版『素問』の影響 …………… 吉岡広記  
30 国立公文書館内閣文庫所蔵の木活字版『黄帝内経』について  
——吳悌本『靈枢』との比較 …………… 竹内 尚  
31 医学館旧蔵『鍼灸資生経』の鈔金沢文庫本について …………… 宮川隆弘  
32 研医会図書館所蔵『眼科龍本論』収載の方劑について …………… 安部郁子

**14:30～15:30** 座長：町泉寿郎

- 33 宋元以前の類書などに見える医経経文の総括 …………… 橋本典子  
34 『甲午筆乘』記載の医書と医学について …………… 木場由衣登  
35 小島蕉園の『蕉園漫筆』 …………… ○松岡尚則、安部郁子  
36 近世藩立医育施設における西洋医学受容状況の分析 …………… 鈴木友和

**15:30～16:30** 座長：天野陽介

- 37 元明鍼灸書における鍼灸歌賦の採録数について …………… 河内輝美  
38 『古今医統大全』の鍼灸について(第5報) …………… 田中利江子  
39 河野芸隣斎「龍頭内経序」について …………… 寺川華奈  
40 喜多村直寛『黄帝内経素問講義』における押韻の指摘について …………… 澤谷直子

---

**17:30～18:00** 移動〔大型バス2台(無料)〕

**18:00～20:00** 懇親会〔大阪新阪急ホテル(梅田)〕  
開会の挨拶…………… 田中祐尾

## 第2日 4月26日(日)

### 第A会場

8:30～ 受付

9:00～10:00 座長：蔵方宏昌

- 41 中神琴溪の子孫について……………黒川達郎  
42 日本最初の医学士神内由己について……………○酒井シヅ、神内國榮  
43 杉田玄白との比較から再評価する山脇東洋の近代医学への功績……………衆谷圭二  
44 米沢藩医 堀内素堂が重訳出版した「幼幼精義」のサクセ蘭訳原書と  
フーフェラント独語原著……………○北村正敏、高橋秀昭

10:00～11:00 座長：中澤 淳

- 45 (欠演)日本とアメリカにおける全身麻酔発見時の状況の比較…○土手健太郎、長櫓 巧  
46 齋藤 眞教授と「終末囊麻酔」——世界で最初のSaddle Blockの提唱者……………松木明知  
47 明治期の「養育院」の医師たち……………○稲松孝思、松下正明  
48 ベルツ博士の遺言「第一回聯合医師会での提言」……………山上勝久

11:00～12:00 座長：松木明知

- 49 “Ludlow's Manual of Medical Examinations, 1867”と和訳本『医学七科問答』  
……………樋口輝雄  
50 シュヴァイツァーに捧ぐ(没後50年記念)シュヴァイツァーに宿るゲーテの生への想い  
……………鈴木重統  
51 富士川游の人間観……………土屋 久  
52 1927年における津市立病院の女性医師採用……………佐藤ゆかり

12:00～13:00 昼食

13:00～14:00 座長：田中祐尾

- 53 第一次世界大戦時バリで活動した第四厚誼病院(日本赤十字)……………小林 晶  
54 第一次世界大戦における病院船「八幡丸」の医療活動……………○柳川鍊平、澤井直、坂井建雄  
55 占領期日本の「公衆衛生列車」運行に関する考察——「衛生展覧会」との関係について  
……………○田中誠二、杉田聡、丸井英二  
56 占領期においてサムス公衆衛生福祉局長と面談を行った日本人に関する考察  
……………○杉田 聡、田中誠二、丸井英二

14:00～15:00

座長：西巻明彦

- 57 山口県美祢の医師浅山良輔と赤間関医学校……………○中澤 淳、亀田一邦  
58 相良元貞(相良知安の弟)のドイツ医学留学の足跡……………相良隆弘  
59 東洋女子歯科医学専門学校校長・宇田尚(第1報)……………永藤欣久  
60 クリスティアン・エイクマンの「ベリベリと食物」における高木兼寛の兵食改革の評価  
……………○山下 龍、相川忠臣

15:00～15:15 休憩

## 第 B 会場

9:00～10:00

座長：舘野正美

- 61 薬用の茶——蠟茶と香茶について……………岩間眞知子  
62 公家・山科言経の勅勤時代は医師であった——『言経卿記』から読みとく……………葉山美知子  
63 桃山時代の薬進物:山科言経(1543-1611)の香薷散とその香薷散賦之衆  
……………アンドリュウ・ゴープル  
64 吉田流は16世紀の流派と認めがたい——日本で独自に展開した腹部三腕穴からの考察  
……………長野 仁

10:00～11:00

座長：黒川達郎

- 65 大野松齋と積善社……………○鈴木達彦、荻原通弘  
66 『内経抜書』における疾病概念:病因理論と『続医学至要鈔』「寛文配剂」との関連性  
……………吉川澄美  
67 小石川養生所初期の医療活動……………山口静子  
68 加古角洲吐方撮要攷……………舘野正美

11:00～12:00

座長：平松賢二

- 69 カタカナで名付けられた最初の売薬「ウルユス」について……………野尻佳与子  
70 江戸時代中期の談義本『医者談義』(1759)にみる病家への教訓……………平尾真智子  
71 「断毒論」にみる「温疫論」の影響……………西巻明彦  
72 大阪医蹟めぐりガイドの作成(第3報)……………竹中裕昭

12:00～13:00 昼食



13:00～14:00 座長：長野 仁

- 73 『鍼灸五蘊抄』の選穴について……………岩田源太郎  
74 江戸前期経穴学における骨度について……………鶴田泰平  
75 脚気に対する隔物灸……………上田善信  
76 『外台秘要方』におけるいわゆる「経外奇穴」について……………橋本史代

14:00～15:00 座長：山崎正寿

- 77 はらわた紳士——散歩する人体解剖図とその系譜……………竹原直道  
78 あん摩術指圧術とカイロプラクティックの関係……………清野充典  
79 地域健康指標としての生命表の精度  
——沖縄の出生・死亡と平均寿命の長期推移の分析例……………逢見憲一  
80 福島令子(福島智・東大教授の母)が考案した盲ろう(聾)者のための指点字……………飯塚修三

15:00～15:15 休憩

## 第A会場

15:15～15:45 市民公開講座 座長：横山 巖

道修町の今昔……………深澤恒夫

15:45～16:15 市民公開講座 座長：川崙真人

近世大坂の医学——村落への浸透と継続……………田中祐尾

16:15～16:45 市民公開講座 座長：坂井建雄

漢蘭折衷の医学……………町泉寿郎

16:45～

次期大会会長挨拶……………山崎正寿  
閉会の辞……………小曾戸洋

## 誌上発表

- 81 水穴五十七穴と『甲乙経』の主治の比較……………齊藤珠恵
- 82 「諸気」について……………渡部栄輝
- 83 『鍼灸則』の病門について……………若林研二
- 84 『鍼論』について……………山崎陽子
- 85 曲直瀬流の口訣・医案に注目した『和漢纂言要方』『本邦名医類案』の解析  
……………○星野卓之、小曾戸洋、花輪壽彦
- 86 『幼々新書』所引『千金翼方』の検討……………○堀田広満、小曾戸洋、花輪壽彦
- 87 『奇疾便覧』に引用される症例について……………○周防一平、小曾戸洋
- 88 和語としての気用語「気まぐれ」考……………小曾戸明子
- 89 津田(田村)玄仙による学校設立の試み……………加畑聡子
- 90 「西洋医学」と「東洋医術」——雑誌『日本医学』掲載の「将来の医学」座談会(1937年)から  
……………勝井恵子
- 91 西鶴作品にみる身体に関する語(三)……………計良吉則
- 92 医師としてのチェーホフ……………藤倉一郎
- 93 中日古医籍索引の史的考察……………郭 秀梅
- 94 散鍼について……………宮川浩也
- 95 浅田宗伯編輯『皇朝医叢』について……………○渡辺浩二、天野陽介、小曾戸洋、花輪壽彦
- 96 漢蘭折衷医学の人々とその蔵書……………清水信子
- 97 日本医学会と日本医史学会——日本医史学会はなぜ「第一分科会」なのか  
……………津田篤太郎
- 98 常煎法の成立起源及びその経緯に関する研究——江戸末期から昭和にかけて  
……………○坂田幸治、大里真奈美、花輪壽彦

## 参 加 事 項

### 1. 演者の方へ

- ①一般口演の口演時間は 10分、質疑応答 2分です。時間を厳守願います。
- ②発表開始 9分で初鈴を鳴らします。10分の第2鈴で発表を終了してください。
- ③演者は発表の開始・終了など、座長の指示に従ってください。
- ④演者は自演題の 2題前には発表会場に入り、次演者は次演者席で待機してください。
- ⑤当日配付資料がある場合は 120部程度ご用意願います。  
配布後の残部は会場入口に講演順に配置いたします。  
講演終了後の残部は各自の責任で回収してください。  
※当日配付資料の現地事務局での印刷・増刷には応じかねますのでご了承ください。
- ⑥映像呈示はすべて パソコンでのパワーポイント・プレゼンテーションで行っていただきます。  
スライドやOHPは使用できませんのでご注意ください。送付方法は下記の通りです。  
容量制限：10MB（発表時間10分に相当する枚数をご用意下さい）。  
バージョン：Office2010（PowerPoint2010）  
※動画・アニメーション等の使用はご遠慮下さい。  
宛先：事務局宛（[ishi2015@insti.kitasato-u.ac.jp](mailto:ishi2015@insti.kitasato-u.ac.jp)）にメール添付にてお送り下さい。  
締切日：平成27年3月31日（火）  
※受領後は、4月10日（金）までに、受領メールをお送りいたします。万が一届かない場合は、お手数ですが事務局宛メールにご連絡下さいますようお願いいたします。

### 2. 座長の方へ

- ①延長は他のセッションや懇親会等の行事の進行に影響を及ぼしますので、時間厳守にて運営願います。
- ②次席座長はセッション開始15分前には次席座長席で待機してください。

### 5. 参加費用 ※②～④は希望する方のみです。

- ①学会参加費 8,000円（学生4,000円）
- ②大会懇親会費 7,000円（学生4,000円）
- ③記念写真代 1,000円 4月24日（土）の会員総会終了後に記念写真を撮影します  
（お申し込みの方へは後日郵送いたします）。
- ④お弁当代 各日お茶付1,000円  
いずれの費用も、前号同封の郵便振替振込用紙の該当項目に○印をつけ、  
合計金額を 3月31日（火）までに払い込みをお願いします。

#### 4. 大会懇親会

「大阪新阪急ホテル」大阪市北区芝田 1-1-35 TEL：06-6372-5101 FAX：06-6374-6885  
【送迎バス】 4月25日（土）シンポジウム終了後、学会会場の綿業倶楽部から約200m東の堺筋より、懇親会会場の大阪新阪急ホテルまで送迎バス（2台、先着順）を運行いたします。ご乗車を希望される方は、当日、誘導係のご案内にしたがって、ご利用下さい。

【電車】 会場の大阪新阪急ホテルは、地下鉄御堂筋線「梅田」駅に直結しております。会場から地下鉄で行かれる場合は大阪市営御堂筋線「本町」駅より新大阪行にて地下鉄御堂筋線「梅田」駅で下車して下さい（2駅、所要時間約5分、運賃180円）。

#### 5. オプションツアー

4月27日（月）に下記の行程でオプションツアーを企画しております（参加費8,000円。小型バス2台を予定しています）。

8:30 武田薬品道修町ビル  
10:00～12:00 武田薬品 京都薬用植物園  
12:20～12:40 十念寺（曲直瀬道三墓所）  
12:55～13:15 六角獄舎跡・山脇東洋観臓記念碑・近代医学発祥の地・勤王志士忠霊碑・首洗井  
13:30～14:30 南禅寺順正  
15:00～16:30 日本新薬 山科植物資料館  
17:00 JR京都駅  
18:00 大阪国際空港

参加ご希望の方は、3月31日（火）までに学会参加費とともに、前号同封の郵便振替振込用紙にて払い込みをお願いいたします。定員になり次第、締切らせて頂きますのでご注意下さい。

#### 〈ご参加のみなさまへのお願い〉

##### 1) 昼食について

会場の綿業会館の周辺には飲食店が多数ございますが、土日休業の店もありますので、ご注意下さい。

また、お弁当の予約も郵便振替による事前申込にて承ります。受付前にて配布いたします。

##### 2) ご注意下さい

- ①昼食時の飲食は各会場内でも可能ですが、開演中のお食事はご遠慮下さい。
- ②会場内は禁煙です。A.B会場間の通路に喫煙所を設けておりますので、そちらをご利用下さい。
- ③会場には外来者のための駐車場はございませんので、ご来場の際は公共交通機関をご利用下さい。

あじあ  
ブックス



## 針灸のコンパクト通史、 ついに登場!

古代中国で発明され、日本においても1500年の歴史をもつ、針と灸を使った医療法・針灸。その沿革を、豊富な図版とともに、随所に新知見を織り交ぜながら、わかりやすくとどる。好評『新版 漢方の歴史』とあわせて読みたい一冊。針灸関連年表、主要書名・人名索引付き。

●四六判・296頁  
定価=本体1,800円+税

【主要目次】第一章 序説—宇宙と自然と人／第二章 多様な診察法／第三章 伝説の名医たち／第四章 針灸の成立／第五章 『黄帝内経』／第六章 三國～六朝～隋唐の針灸関係書／第七章 宋元の針灸書／第八章 明の針灸関係書／第九章 清から現代中国へ／第十章 日本古代の針灸／第十一章 日本中世～近世の針灸関係書／第十二章 針灸の様相／第十三章 明治～昭和の針灸

# 針灸の歴史

悠久の東洋医術

Kosoto Hiroshi  
小曾戸 洋  
Amano Yosuke  
天野陽介  
〈著〉

大修館書店

ご注文は… ☎03-3868-2651 (販売部)

<http://www.taishukan.co.jp>

あじあ  
ブックス

Kosoto Hiroshi

小曾戸 洋〈著〉

●四六判・264頁 定価=本体1,700円+税

# 新版 漢方の歴史 中国・日本の 伝統医学

## 新知見を大幅に 増補した待望の改訂版!

中国で生まれ、日本に入って独自の発展をとげた漢方の通史。好評のロングセラーが初版刊行から15年の時を経て、待望のリニューアル。新知見を大幅に盛り込み、図版を増やし、また、新たに漢方関連年表と、主な生薬の来歴を事典形式にまとめた「和漢薬の来歴」を付し、さらに充実した内容となっている。



【主要目次】 ::

- 第一章 中国医学の形成
- 第二章 よみがえる古代医学の遺物
- 第三章 神農伝説と『神農本草経』
- 第四章 『黄帝内経』と陰陽五行説
- 第五章 張仲景の医学
- 第六章 六朝隋唐医学と日本
- 第七章 宋の医学と日本
- 第八章 金元明清の医学と日本
- 第九章 江戸時代の医学
- 第十章 日本から中国へ
- 付録 漢方関連年表、和漢薬の来歴 他

大修館書店

ご注文は… ☎03-3868-2651 (販売部)

<http://www.taishukan.co.jp>

あじあ  
ブックス

お茶は薬だった！  
茶はどう  
飲まれてきたか

岩間真知子〈著〉

# 喫茶の歴史

茶葉同源をさぐる

古来より茶は薬だった。理想の古帝王「神農」が、毒にあたって茶で解毒したのは本当か。菜西はなぜ「喫茶養生記」で茶と桑による養生法を書いたのか。古代から近世まで医薬書や各種史料を渉猟し、中国と日本の茶の交流史を明らかにしつつ、茶の効能と歴史を追う。

【主要目次】第一章 茶葉同源をさぐる／第二章 中国漢代から魏晉南北朝／第三章 中国唐代／第四章 日本喫茶の始まりから平安時代まで／第五章 中国宋代／第六章 日本 鎌倉・室町・安土桃山時代／第七章 中国金・元代／第八章 中国明代／第九章 中国清代／第十章 日本 江戸時代



●四六判 296頁  
定価 本体2000円＋税

大修館書店

ご注文は… ☎03-3868-2651 (販売部) <http://www.taishukan.co.jp>

あじあ  
ブックス

# 老荘の思想を読む

館野正美 著

●四六判 240頁  
定価 本体1600円＋税



〈道〉の思想とは何か？

老子の説く〈無為〉の境地とはいかなるものか？  
荘子が語る〈胡蝶の夢〉は何を表しているのか？  
老荘の言葉を縦横無尽に読み解きながら、  
〈道〉の思想の本質に迫り、その核心を説き明かす。

…【主要目次】…

序章 老荘思想へのいざない  
第一章 老荘思想とは何か Ⅰ 老子の思想 Ⅱ 荘子の思想  
第二章 老荘思想をめぐって Ⅰ 時間と空間をめぐって  
Ⅱ 夢をめぐって Ⅲ 神話をめぐって

大修館書店

ご注文は… ☎03-3868-2651 (販売部) <http://www.taishukan.co.jp>

◎古代から現代までの医学知見と人文諸科学の成果を統合し、黄帝医籍六文獻の歴史を俯瞰する

# 黄帝医籍研究

茨城大学教授

真柳 誠 著

真柳誠「黄帝医籍研究」を推挙する（小曾戸 洋）

待望の真柳氏の著書が出る。久々の読みごたえのある中国医籍研究書である。中国伝統医学（漢方）の根幹をなす典拠は『黄帝内経』『神農本草経』『傷寒・金匱』の三大古典である。今回の氏の著作はいうまでもなく『黄帝内経』に関するもので、ここにいふ「黄帝医籍」とは、いずれも正式書名に黄帝の名を冠する「素問」「針経」「靈枢」「明堂」「難経」「甲乙経」「太素」のことである。およそ中国古典を研究するにあたっては、まずその書誌を明らかにする必要がある。研究の対象とする書物が、いかなる経緯で書かれ、どのような伝承のもとに今に至っているかが不明確では、その研究自体が成り立たない。氏の著作は長年の研究成果をまとめた労作で、書誌学を基本とし、新出の資料をふんだんに取り入れている。その上で独自の論を展開しており、従来の先達の水準をはるかに越えた歴史に残る名著といっても過言はない。

本書が出版されたからには、今後『黄帝内経』さらに中国伝統医学の研究をめざす人は、この書に目を通す必要が生じたといえるであろう。本書を高く評価し、広く推薦するゆえんである。

## 【内容目次】

序 説 黄帝医籍

第一章 『素問』

第一節 序 論

第二節 序 論

第三節 序 論

第四節 序 論

第五節 序 論

第六節 序 論

第七節 序 論

第二節 北宋版

第三節 南宋版

第四節 金 版

第五節 元 版

第六節 明 版

第七節 総 括

第二節 北宋版

第三節 南宋版

第四節 金 版

第五節 元 版

第六節 明 版

第七節 総 括

第一節 序 論

第二節 序 論

第三節 序 論

第四節 序 論

第五節 序 論

第六節 序 論

第二節 北宋・元祐本「針経」

第三節 偽経の「靈枢経」九卷

第四節 南宋・紹興本「靈枢」

第五節 現「靈枢」の諸本

第六節 第七節 総 括

第三章 「難経」概説

第一節 概 要

第二節 成 書

第三節 伝 承

第四節 版 本

第五節 概 要

第六節 成 書

第一節 概 要

第二節 成 書

第三節 伝 承

第四節 現存本

第五節 結 語

第六章 「明堂」

第一節 概 要

第二節 「明堂」の成書と旧態

第三節 原「明堂」の孔穴配列と経脈循行の概念

第四節 魏晋・六朝・隋代の伝承・変化および影響

第五節 唐代の「明堂」文獻

第六節 総 括

付 所出文献関連年表／後 記／書名・人名・事項索引

▼A5判上製／630頁／本体6000円

ISBN978-4-7629-6528-9 C3010 14年11月刊

汉古書院

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-5-4  
電話 03 (3265) 9764 FAX 03 (3222) 1845  
E-mail:kyuko@fancy.ocn.ne.jp (営業部)

昭和29年(1954)創刊  
益々充実、読んで得をする漢方総合専門誌

# 月刊『漢方の臨床』

入会方法の詳細は下記ホームページをご覧ください。

東亜医学協会は昭和13年(1938)、大塚敬節・矢数道明ら青年漢方医師が漢方医学の進行を目的に流派を超えて大同団結し、発足しました。現在、機関誌『漢方の臨床』は充実した論文誌として評価されています。



- \* A5判、平均 180 ページ。漢方医学の本質・真髓が身に付く実用情報満載
- \* 漢方医学・和漢薬・医史の論説、臨床報告、基礎報告、古典解釈などを収載。
- \* 年会費 10,000 円(入会金不要)。年12回、毎月『漢方の臨床』を直送いたします。

ホームページ：<http://aeam.umin.ac.jp/>  
Eメール：[domei-toa@nifty.com](mailto:domei-toa@nifty.com)

\*\*\*お申し込み・お問い合わせ\*\*\*  
**東亜医学協会**

〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-7-4 島崎ビル 6F  
☎03-3264-8410 fax 03-3265-5995

昭和漢方復興の母体となった戦前の名雑誌

## 『漢方と漢薬』DVD

- 日本漢方医学会発行。
- 創刊号(昭和9年)～第11巻(昭和19年)まで通巻125号、総ページ1万3千頁余を収録(PDF形式)。
- 当時一流の執筆陣による学術性の高い漢方医学業績の宝庫。
- 頒布価格30,000円(税別)

43,000 頁のデータが超安価で!

## 『漢方の臨床』CD-ROM

- 創刊号(昭和29年)から第45巻12号(平成13年)までの膨大なデータを収録。
- 頒布価格50,000円(表紙会員割引あり)。
- 続編(46～48巻)も発売中(5,000円)。

矢数道明先生の名著がよみがえる!

## 新版 漢方後世要方解説

- 旧版内容を徹底的にチェックし、書き改めた。
- 後世方の基本処方121方を表式に解説する。とくに重要処方35方は詳説した。
- 頒布価格 4,000円 (税別)

なるほど! 救心

**Q** 緊張やストレスなどで  
どうきや息切れがするのですが…?

**A** ストレスや不安が長くつづくと、  
自律神経にも悪影響を  
与えてしまいます。  
「救心」は  
自律神経の  
バランスを整えて、  
体をリラックスさせ、  
どうき・息切れを  
改善します。



どうき・息切れ・気つけ



30粒・60粒・120粒・310粒・630粒

救心製薬株式会社 〒166-8533 東京都杉並区和田 1-21-7

救心

検索



## 杏雨書屋研究奨励の募集案内

武田科学振興財団では、下記のとおり2015年度「杏雨書屋研究奨励」の募集を2015年1月6日から行っています。

詳細は武田科学振興財団ホームページ (<http://www.takeda-sci.or.jp>) をご覧ください。

**研究課題：** 杏雨書屋所蔵の資料およびそれに関連する研究

**応募資格：** 上記課題の研究に取り組む日本在住(研究開始から2年以上)の研究者(2011年度以前に研究奨励金を受けられた方も応募いただけます。)

**奨励金額：** 1件 50～100万円

**奨励件数：** 7件程度

**応募締切：** 2015年4月28日(火)必着

**応募方法：** 武田科学振興財団ホームページから応募申込書に必要事項を記入し、当財団杏雨書屋事務局に郵送ください。

**決定通知：** 2015年8月下旬までに事務局から各応募者に通知します。

### 応募書類の送付先

〒541-0045 大阪市中央区道修町2-3-6

公益財団法人 **武田科学振興財団** 杏雨書屋事務局

TEL (06)6233-6108 FAX (06)6233-6112

E-mail: [kyou@takeda-sci.or.jp](mailto:kyou@takeda-sci.or.jp)



公益財団法人 **武田科学振興財団**

〒541-0045 大阪市中央区道修町2-3-6

TEL: 06-6233-6108

# 遙かな刻の憧憬。はなやかなる歴史の舞台への誘い

綿業会館は昭和6年(1931年)12月、日本綿業倶楽部の建物として竣工し、翌年1月1日に開館しました。設計は渡辺節氏が担当し、ヘッド draftsmanには村野藤吾氏が参画しました。各部屋のスタイルを変えたのは、世界各国の来賓や、会員の好みに応じて、好きな部屋を選んでもらいたいという設計者の配慮によるものです。柱式のみならず、将来の本格的な冷暖房の普及を予想してタクトの扉を夫々して建物に内蔵させ、当時からすでに、井戸水による冷風送風を行い、地下室に冷暖房設備のスペースを残すなどの工夫も見られます。また、各部屋の窓に鋼鉄ワイヤー入り耐火ガラスを使用していたため、戦火をまぬがれました。このようにこの建築はデザイン面の革新をたのみならず、設備の面でも先駆的な試

みがなされています。まさに名実ともに戦前の日本の近代美術建築の傑作と言われ、高く評価されています。

激動の昭和史を生きたこの建築の歩みを見ますと、たいへん興味深いさまざまな歴史があります。開館早々には、リットン卿らの率いる英・米・仏などからなる国際連盟満州事変調査団の来館、その後も、各国の要人が来館し、国際会議の場としてもよく利用されました。戦時中は、一時倶楽部活動を停止していましたが、戦後の業務再開後も、国際的にも国内的にも脚光を浴び、各国の使節団が相次いで来館しており、綿業会館は、戦前戦後を通して、華やかなる歴史の舞台をつづけております。



## ホール 本館1階

イタリアルネオクラシック調でまとめた玄関ホール。



1階エレベーターの  
装飾的な鉄製扉  
階段踊り場から  
3階ギャラリーを望む



## 特別室 本館3階

貴賓室と呼ばれる特別室は、窓や壁が直線的なのに対して、天井・家具などの曲線が巧み組み合わされたクィーン・アン・スタイルです。



## グリル 本館地下

会員並びにご同伴専用。



## 倶楽室 新館2階



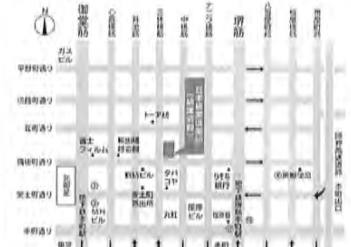
## ゴルフ練習場 屋上



## 紡績神社 屋上



館内見学(有料)  
毎月第4土曜日開催  
11:00~食事付見学、14:30~見学のみ  
事前に事務局へ電話・FAXでお申し込み下さい。



地下鉄 御堂筋線 本町駅 ①または②番出口より徒歩5分  
地下鉄 御堂筋線 南本町駅 ③または④番出口より徒歩5分



一般社団法人 **日本綿業倶楽部**  
(綿業会館)

〒541-0051 大阪市中央区備後町2丁目5番8号  
電話 (06) 6231-4861 (代) ファクス (06) 6231-4940  
U R L <http://www.mengyo-club.or.jp>  
開館時間 AM10:00~PM8:00 (日・祝、第3土曜は休館)



委員 猪飼祥夫、長野 仁、天野陽介、加畑聡子、周防一平、  
友部和弘、野澤隆幸、郭 秀梅、清水信子、西卷明彦、  
宮川浩也、町 泉寿郎、勝井恵子、堀田広満、星野卓之、  
渡辺浩二、菊池友美子、黒川達郎、津田篤太郎

◆会場 日本綿業倶楽部

大阪市中央区備後町2-5-8

地下鉄・御堂筋線「本町駅」

出口1番または3番より徒歩5分

地下鉄・堺筋線「堺筋本町駅」

出口17番または12番より徒歩5分

◆会場 武田科学振興財団杏雨書屋

大阪市中央区道修町2-3-6

**第116回日本医史学会総会事務局**

事務局長 舘野正美

〒108-8642 東京都港区白金5-9-1

北里大学東洋医学総合研究所 医史学研究部

TEL:03-5791-6353 FAX:03-5971-6173

E-mail:isshi2015@insti.kitasato-u.ac.jp